

News Release

報道関係 各位
【イベント開催報告】

2024年12月4日

青年技術士支援委員会 「多様性を活かした若手技術者のキャリアプランニング」 対面・オンライン開催にて大盛況で終了！

公益社団法人日本技術士会青年技術士支援委員会（村上玲委員長）は、11月30日（土）、日本技術士会男女共同参画推進委員会の協力のもと、技術士コンピテンシー（コミュニケーション）の向上を目的とした「多様性を活かした若手技術者のキャリアプランニング」を開催しました。本イベントでは、最初に「ダイバーシティの理解とキャリア」をテーマに、講義を通じてダイバーシティの理解を深めました。次に実際に多様なキャリアを歩んできた技術者によるパネルディスカッションを実施し、様々なキャリアパスやその背景に触れました。最後に、ブランドハップスタンス理論に基づき、予期せぬライフイベント（異動、転勤、介護など）への柔軟な対応力を養うことを目的としたグループワークを行い、多様性を活かした前向きなキャリア形成の方法を体験しました。本イベントには16名が参加し、大盛況のうちに終了しました。

イベント詳細

本イベントは講演、パネルディスカッション、グループワークの三つのセッションを実施しました。

講演セッションでは、高崎美佐（お茶の水女子大学、学生・キャリア支援センター講師）による「ダイバーシティとキャリア形成」と題し、ダイバーシティの理解やキャリア形成への活用を目的に、基本的な理論から、職場や個人におけるキャリアの多様性について議論を展開しました。ダイバーシティの理解については、表層的な違い（性別や年齢）だけでなく、価値観や経験といった深層的な違いにも注目し、これらが職場環境やキャリア形成に与える影響を説明しました。キャリア形成における多様性の課題や心理的安全性の重要性に触れ、多様性を理解し活かすために、明確なゴールを定めた直線型キャリアだけでなく、自身の興味関心を重視する曲線的キャリアもあること、その際に「計画された偶発性理論（ブランドハップスタンス理論）」を学習しました。

パネルディスカッションのセッションでは、多様なキャリアを歩んできた技術者が登壇し、「キャリアの始まりと初期のビジョン」、「現実とのギャップとその対応」、「キャリアの多様性と包括性への気づきとアドバイス」をテーマに、それぞれの経験を共有しました。特に、現実とのギャップに直面した際の対応策や考え方について、具体的な事例が示され、ライフイベントや職場環境の変化に対し、どのようにキャリア形成に活かしたかについて議論が深まりました。

最後にグループワークのセッションでは、「計画された偶発性理論（ブランドハップスタンス理論）」に基づき、キャリアの修正力を高め、予期しないライフイベントに対して、柔軟かつ積極的な対応力を養うことを目的に実施しました。このワークでは、「異動」「転勤」「子供の進学」「介護」などをテーマとしたシナリオカードを用い、この理論における5つの要素「好奇心」「柔軟性」「持続性」「楽観性」「リスクテイク」の観点から課題を再構築しました。最終的には具体的なアクションプランを策定しました。このグループワークを通じて、キャリア形成における視点を広げ（多様性）、予期せぬ出来事を受け入れる力（包括性）の重要性を体験しました。

参加者からは「想定していた以上に自分のキャリアを見直し、間違った方向ではないと確認できた」、「キャリアや考え方は人それぞれであると共に、決して一つでもなく、受け入れるキャリアもあることに気付かされた」といった感想が寄せられました。



講義の様子



パネルディスカッションの様子



グループワークの様子

【本イベントに関するお問い合わせ】

公益社団法人 日本技術士会 青年技術士支援委員会 委員長 村上 玲

委員会内広報グループ：山本直樹E-mail：pr@peyec.jp ※取材の際は左記までお問い合わせください。

公益社団法人 日本技術士会 青年技術士支援委員会とは？

公益社団法人 日本技術士会は技術士制度の普及・啓発に取り組んでいる唯一の全国組織です。

当会は、日本技術士会内に設けられた委員会組織で、45歳以下の技術士、技術士補、修習技術者から構成され、若手技術士に向けた研鑽事業の企画・実施・支援をしています。

技術士
仲間を
作ろう！